

ノロウイルス検出キットG1/G2-ふき取り-〈2色プローブ検出〉

整理番号 2510A

作成 2018年11月30日

改訂 2021年4月1日



安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ノロウイルス検出キットG1/G2-ふき取り-〈2色プローブ検出〉
製品コード	FIW-201
供給者の会社名称	東洋紡株式会社
住所	大阪市北区堂島浜二丁目2番8号
担当部門	バイオプロダクト営業部
電話番号	06-6348-3786
FAX番号	06-6348-3833
推奨用途及び使用上の制限	ノロウイルスふき取り検査用試薬 本製品は、研究用のみ。臨床用には使用できない。

2. 危険有害性の要約

重要危険有害性

健康有害性

酵素液に含まれるグリセロールは、皮膚刺激性、眼刺激性がある。危険有害性の調査が十分でなく、取扱に注意する。

GHS分類

物理化学的危険性 健康有害性

環境有害性

	〈濃縮液〉 〈前処理液〉 〈プライマー液(G1/G2)〉 〈プローブ液(G1/G2)〉 〈HEXプローブ液〉 〈コントロールDNA(G1/G2)〉	〈反応液〉	〈酵素液〉
引火性液体	区分外	区分外	区分外
急性毒性(経口)	区分外	分類できない	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	区分外	分類できない	分類できない
眼損傷・眼刺激性	区分外	分類できない	区分2B
水生環境有害性	区分外	分類できない	分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル
注意喚起語
危険有害性情報
注意書き

〈酵素液〉

-

警告

眼刺激

取り扱い後は手をよく洗う。

眼に入った場合:水で数分間注意深く洗う。□

次にコンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外す。

その後も洗浄を続ける。

眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受ける。

〈濃縮液〉〈前処理液〉〈反応液〉〈プライマー液(G1/G2)〉〈プローブ液(G1/G2)〉

〈HEXプローブ液〉〈コントロールDNA(G1/G2)〉

ラベル表記なし

ノロウイルス検出キットG1/G2-ふき取り-＜2色プローブ検出＞

整理番号 2510A

作成 2018年11月30日

改訂 2021年4月1日



安全データシート

3. 組成及び成分情報

単一製品/混合物の区別

化学特性

パーツ名

混合物

化学物質を含む水溶液

主要成分

濃縮液

前処理液
反応液

酵素液

プライマー液(G1/G2)

プローブ液(G1/G2)

HEXプローブ液

コントロールDNA(G1/G2)

添加剤①

添加剤②

グリコールエーテルジアミン四酢酸・2ナトリウム

トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン

デオキシアデノシン三リン酸

デオキシチジン三リン酸

デオキシグアノシン三リン酸

デオキシウリジン三リン酸

ポリ(オキシエチレン)＝ノニルフェニル＝エーテル

添加剤③

DNAポリメラーゼ

リバーstransクリプターゼ

リボヌクレアーゼ阻害剤

トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン

ウラシルDNAグリコシラーゼ

グリセロール

トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン

デオキシリボ核酸

エチレンジアミン四酢酸二ナトリウム

トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン

デオキシリボ核酸

エチレンジアミン四酢酸二ナトリウム

トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン

デオキシリボ核酸

エチレンジアミン四酢酸二ナトリウム

トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン

エチレンジアミン四酢酸二ナトリウム

CAS No.
(EC No.)

非公開

非公開

26082-78-0

77-86-1

1927-31-7

102783-51-7

93919-41-6

102814-08-4

9016-45-9

非公開

(EC 2.7.7.7)

9068-38-6

-

77-86-1

59088-21-0

56-81-5

77-86-1

-

139-33-3

77-86-1

-

139-33-3

77-86-1

-

139-33-3

77-86-1

139-33-3

危険有害成分

化学名又は一般名

別名

CAS番号

官報公示整理番号 化審法

安衛法

含まれるパーツと濃度範囲

ポリ(オキシエチレン)

＝ノニルフェニル＝

エーテル

ノニデット P-40

9016-45-9

7-172

公表

反応液、酵素液

:0.01%未満

グリセロール

グリセリン

56-81-5

2-242

公表

酵素液:50%

添加剤③

非公開

非公開

非公開

非公開

反応液:4%未満

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪い時は医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

大量の水と石鹼で洗う。汚染された衣類はすべて脱ぐ。皮膚刺激が生じた場合には医師の診断、手当てを受ける。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受ける。

飲み込んだ場合

水で口をすすぎ、無理に吐かせない。気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受ける。

ノロウイルス検出キットG1/G2-ふき取り-＜2色プローブ検出＞

整理番号 2510A

作成 2018年11月30日

改訂 2021年4月1日



安全データシート

5. 火災時の措置

消火剤 水、二酸化炭素、泡消火剤、粉末消火剤
 特有の危険有害性 火災時に一酸化炭素を含む有毒ガスが発生する。
 特有の消火方法 消火は風上側から行う。
 消火を行う者の保護 大規模な火災の場合は呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具、緊急時措置 眼、皮膚への接触、吸入を避ける。
 作業の際には必ず保護具を着用する。風下で作業しない。
 環境に対する注意事項 環境中へは直接廃棄しない。
 除染方法 可能な限り、砂または他の不燃性吸着剤に吸着させて空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
 技術的対策 適切な保護具を着用する。
 安全取扱い注意事項 眼、皮膚、衣服への接触を避ける。
 試薬の飛散がないよう、器具を注意深く取り扱う。
 取扱い場所を常に整理整頓し、清潔に保つ。
 換気のよい場所で取り扱う。
 衛生対策 取扱い後は十分手を洗う。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。
 保管
 安全な保管条件 密封容器にて-20℃±5℃で保管する。換気のよい場所に保管する。
 直射日光、強酸化剤、還元剤の接触を避ける。
 安全な容器包装材料 本製品に使用されている容器内で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 換気システムを設ける。取扱い場所近くに洗顔及び身体洗浄のための設備を設ける。

許容濃度
 グリセロール(ミスト) ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニル=エーテル 添加剤③

日本産業衛生学会勧告値	未設定	未設定	未設定
ACGIH TLV	10mg/m ³	未設定	未設定
OSHA PEL	total dust : 15mg/m ³ TWA	未設定	未設定
	respirable fr. : 5mg/m ³ TWA		

保護具

呼吸用保護具 呼吸器保護具(有機ガス用防毒マスク、防じんマスク)
 手の保護具 ゴム手袋
 眼の保護具 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
 皮膚及び身体の保護具 保護衣

ノロウイルス検出キットG1/G2-ふき取り-＜2色プローブ検出＞

整理番号 2510A

作成 2018年11月30日

改訂 2021年4月1日



安全データシート

9. 物理的及び化学的性質

外観(物理的状态、形状、色)

酵素液は-20℃以上で液体。その他のパーツは常温で液体、-15℃以下で固体。
プローブ液(G1/G2)は薄い赤紫色、HEXプローブ液は赤紫色、その他のパーツは無色透明。

臭い

全てのパーツで臭いはほとんどない。

pH

6.0~10.5

融点・凝固点

データなし

沸点・初留点・沸騰範囲(℃)

データなし

引火点

水溶液のため引火性はないと考えられるが、酵素液は水分蒸発後160℃の引火点を持つグリセロールが残留する。

爆発範囲

常温では爆発性はない。

蒸気圧(Pa)(℃)

データなし

蒸気密度

データなし

比重

1.0-1.2

溶解度

水に可溶

n-オクタノール/水分配係数(Pow)

データなし

自然発火温度(℃)

データなし

分解温度(℃)

データなし

10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性

通常の条件下では安定である。

危険有害反応性

避けるべき条件

高温、直射日光、火災などによる強熱

混触危険物質

強酸化剤、還元剤

危険有害な分解生成物

燃焼時に一酸化炭素が発生するおそれがある。

11. 有害性情報

急性毒性

データなし

局所効果

眼や皮膚の粘膜を刺激し、結膜炎などの炎症を起こす可能性がある。

各成分の有害性情報

グリセロール

ポリ(オキシエチレン)=

ノニルフェニル=エーテル

急性毒性

マウス経口
:4090 mg/kg
ラット経口
:12.6 g/kg

エチレンオキシドの付加モル数により、毒性値が著しく異なる。1300mg/kg(付加モル数10の場合)、15900mg/kg(付加モル数20の場合)。

皮膚腐食性及び刺激性

ウサギ:500
mg/24hr:Mild

付加モル数2~9の場合の原液が中程度から強度の刺激性

眼に対する重篤な損傷性又は刺激性

ウサギ:500
mg/24hr:Mild

付加モル数2~15の場合の原液が中程度から強度の刺激性

生殖毒性

知見なし

知見なし

発癌性

評価されていない

評価されていない

ノロウイルス検出キットG1/G2-ふき取り-＜2色プローブ検出＞

整理番号 2510A

作成 2018年11月30日

改訂 2021年4月1日



安全データシート

11. 有害性情報(続き)

	添加剤③
急性毒性	ラット経口:50mg/kg* ラット経皮: 537mg/kg*
皮膚腐食性及び刺激性	知見なし
眼に対する重篤な損傷性又は刺激性	知見なし
生殖毒性 発癌性	知見なし 評価されていない *類似物質のデータ

12. 環境影響情報

生態毒性

グリセロール	ポリ(オキシエチレン)＝ ノニルフェニル＝エーテル 鎖長によって毒性が異なる。 甲殻類(ミシドシュリンプ) LC50(48hr)=0.11mg/L 魚類(ブラウンマス)LC50(96hr)=1g/L
魚類(ニジマス) :LC50(96hr) 54g/L 魚類(金魚) :LC50(24hr)>5g/L 甲殻類(オオミジンコ) :EC50(24hr)>10g/L 藻類(紅藻) :EC50(28hr) 4.6g/L	

残留性・分解性

グリセロールや酵素、基質等、良分解性である。ポリ(オキシエチレン)＝ノニルフェニル＝エーテルは易分解性ではない。

生体蓄積性

生体蓄積性はないと考えられる。

土壌中の移動性

水に対する溶解性は高いので、移動すると考えられる。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理委託する。焼却する場合には焼却設備により大気汚染防止法令等に従い処理する。

汚染容器及び包装

その施設、地域の廃棄規則に準じて廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上

非危険物

航空

非危険物

国内規制

陸上

非危険物

海上

非危険物

航空

非危険物

輸送の特定の安全対策及び条件

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

ノロウイルス検出キットG1/G2-ふき取り-＜2色プローブ検出＞

整理番号 2510A

作成 2018年11月30日

改訂 2021年4月1日



安全データシート

15. 適用法令

含有する成分には下記の法規制情報がある。

	グリセロール	ポリ(オキシエチレン)＝ ノニルフェニル＝エーテル 優先評価化学物質	添加剤③ 優先評価化学物質
化審法(特定化学物質／監視化学物質)	該当しない	優先評価化学物質	優先評価化学物質
化学物質管理促進法 指定化学物質(政令番号)	該当しない	第一種指定化学物質	該当しない
労働安全衛生法	該当しない	該当しない	該当しない
毒物劇物取締法	該当しない	該当しない	該当しない
消防法	危険物第4類 引火性液体	該当しない	該当しない
海洋汚染防止法	第3石油類水溶性液 施行令別表 第1有害液体物質 (Z類物質等)	施行令別表 第1有害液体物質 (Y類物質)	該当しない
欧州REACH SVHC(高懸念物質)	該当しない	該当	該当しない

16. その他の情報

参考文献

厚生労働省 職場のあんぜんサイト <http://anzeninfo.mhlw.go.jp/>

NITE:独立行政法人 製品評価技術基盤機構 <http://www.nite.go.jp/>

制約事項

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別の取扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供を主目的とするものであって、保証するものではありません。